

【ビジターセンター イベント案内】

県立宮ヶ瀬ビジターセンター

- ガイドウォーク（無料・申込不要）
開催日：第1日曜日・第4日曜日
13:30~14:30頃
※雨天時にはスライドトークを実施
- スライドトーク（無料・申込不要）
開催日：毎週土曜日、第2・第3日曜日
(第5日曜日)、祝日
13:30~14:00

県立丹沢湖ビジターセンター

- 自然教室「昆虫からの招待状」
内容：昆虫のすみかにおじゃまして虫の世界
絵巻を完成させる。
実施日：平成23年8月6日(土)
時間：9:30~15:30
集合・解散：丹沢湖ビジターセンター
活動場所：丹沢湖ビジターセンターと周辺の森、
草原
対象：小学生と保護者
定員：30名(応募者多数の場合は抽選)
講師：足立直義氏
(グループもしくは代表、ナチュラリスト)
参加費：1,300円
締切：7月14日(木)
申込み：往復はがき又はFAX(返信先FAX番号明
記)に行事名・参加者全員の氏名・年齢
住所・電話番号を記入の上、締切日必着
で丹沢湖ビジターセンターまで。

環境省 箱根ビジターセンター

- 夏休みのイベント（無料・申込不要）
開催期間：7月31日(日)~8月21日(日)
内容：早朝散歩・大涌谷自然観察会・クラフ
ト教室など

県立秦野ビジターセンター

- 夏休み自然教室
「丹沢登山！～自然再生の現場を訪ねて～」
内容：自然再生って？丹沢で何が起きてるの？
県担当者の話を聞きながら、ミノ塔に登
ります。標高差約900m。
実施日：平成23年9月25日(日)
時間：9:15~16:30頃
協力：県自然環境保全センター
募集人数：高校生以上30名(健脚向け)
応募者多数の場合には抽選
参加費：1人 1,500円(保険代、資料代)
締切：9月8日(木)
集合：ヤビツ峠
解散：大倉バス停
申込み：往復はがきに行事名・参加者全員の氏名・
年齢・住所・電話番号を記入の上、締切必
着で秦野ビジターセンターまで。

自然公園へ出かけよう



休館日のお知らせ
県立ビジターセンター：月曜日(祝日開館)、祝日翌日(土日開館)
1~3月第2水曜日(祝日開館)
年末年始(12/29~1/3)
箱根ビジターセンター：6月第2水曜日とその翌日、
年末年始(12/28~1/1)

県立宮ヶ瀬ビジターセンター

〒243-0111 清川村宮ヶ瀬940-15
Tel046-288-1373 Fax046-288-1162
開館時間 9:00~16:30
(1/4~2/28は16:00閉館)
<http://www.kanagawa-park.or.jp/miyagase/>

県立秦野ビジターセンター

〒259-1304 秦野市堀山下1513
Tel0463-87-9300 Fax0463-87-9311
開館時間 9:00~16:30(通年)
<http://www.kanagawa-park.or.jp/hadanovc/>

県立陣馬自然公園センター

〒229-0201 相模原市緑区佐野川1659-3
Tel0426-87-5270 Fax0426-87-5270
開館時間 9:00~16:30
(12/1~3/31は16:00閉館)
<http://www.kanagawa-park.or.jp/jinba-vc/>

県立丹沢湖ビジターセンター

〒258-0202 足柄上郡山北町玄倉515
Tel0465-78-3888 Fax0465-78-3777
開館時間 9:00~16:30
(1/4~2/28は16:00閉館)
<http://www.kanagawa-park.or.jp/tanzawakov/>

県立西丹沢自然教室

〒258-0201 足柄上郡山北町中川1867-2-9
Tel0465-78-3940 Fax0465-78-3940
開館時間 8:30~16:30
(12/1~3/31は16:00閉館)
<http://www.kanagawa-park.or.jp/nishitanzawa/>

環境省箱根ビジターセンター

〒250-0522 足柄下郡箱根町元箱根日礼場164
Tel0460-84-9981
開館時間 9:00~17:00(入館は16:30まで)
<http://www.mmjp.or.jp/HakoneVisitorCenter/>

編集・発行：公益財団法人 神奈川県公園協会 〒：231-0027横浜市中央区扇町3-8-8関内ファーストビル6階
TEL：045-651-0931 FAX：045-651-0932
公園課(自然公園担当)：sizenkouen@kanagawa-park.or.jp ホームページ <http://www.kanagawa-park.or.jp/>
後援：丹沢大山自然再生委員会

神奈川県公園協会

検索

2011

8月号
No.90

～自然公園から季節のたよりをお届けします～
神奈川県自然公園だより

丹沢大山国定公園 県立丹沢大山自然公園 県立陣馬相模湖自然公園 富士箱根伊豆国立公園

タマゴタケ before・after

秦野ビジターセンター



卵型の幼菌



まだ閉じていた傘が...



パツとひらいた!



立派なタマゴタケが...



誰かにかじられた!

夏も本番です。青々と茂った木々が暑い日差しを遮り、森の中は少し暗くなります。

そんな中、ひときわ目立つ真っ赤なキノコがあります。タマゴタケです。

幼菌の時はまさに卵型の白い膜に包まれていて、そこからニョキッと赤いキノコがでてきます。

このタマゴタケ、山歩きの行きと帰りにみると姿がかわっていることがあります。行きに閉じていた傘が、帰りにパツと開いていたり、行きは大きくて立派だったのに、帰りに動物が味見をした痕があったり!この場所にどんな動物がきたのかな?さっきまでいたのかも!と想像が膨らみます。

往復の山歩き、帰りもぜひ周りの自然に目を向けてみてください。行きには気づかなかったものを発見したり、同じものでも、時間の経過で姿に変化があったり、生き物の気配を間近に感じられるかもしれません。(柳沢)

山は涼しいけれど、熱中症に注意を

陣馬自然公園センター



頭山は涼しい



陣馬山頂には光を遮るものはない

標高が100m高くなるごとに気温は約0.6℃下がります（湿度によって気温減少率は異なります）。また、風速1m/秒につき、感じる温度（体感温度）は約1℃下がると言われます。例えば、横浜市内の気温が33℃であれば、標高857mの陣馬山は約28℃になり、加えて風速5m/秒が吹いていたら体感温度は23℃になります。



休憩は日陰で

このように山の上はとても涼しく感じるのですが、その道中は注意することがあります。登山は、長い時間にわたって運動をする行為です。そのため、体温が上昇し、それを下げようと大量の汗がでてきます。この状態を放っておくと熱中症になって動けなくなる可能性があるのです。

熱中症にならないためには、こまめに水分を補給（スポーツドリンクなど塩分が入ったものが良い）すること、日陰などの涼しい場所で休憩することを心がけましょう。万が一不調を感じたら、すぐに日陰でゆっくりと休んで、下山することを考えてください。（青木）

昆虫大集合！

丹沢湖ビジターセンター

丹沢湖ビジターセンターの近くにあるコナラの木に夏になると多くの昆虫たちがやってきます。なぜ昆虫たちはこの木に集まるのでしょうか？

よく観察してみると、昆虫たちの集まる木からはヨーグルトのような甘酸っぱいにおいがしています。これには発酵した樹液のもので、昆虫たちは樹液をなめに集まってきたのです。

樹液を目あてに、昼はチョウ、ハチ、コガネムシなど、夜はガ、ヘビトンボ、クワガタなどの多くの昆虫がやってきます。樹液の出る木では、たくさんの樹液を手に入れるために場所取り合戦がおこなわれ、またオスとメスの出会いの場にもなります。ここではさまざまドラマが繰り広げられています。

みなさんが樹液の出る木を見つけたら、昆虫たちの食事を邪魔しないように離れて観察しましょう。また、刺されると危険なハチがいても、むやみに振り回らずにそっと見守ってください。（鉄谷）



樹液のでる木



ヒメスズメバチとカナブン



頭をつっこおカナブン



クワガタとヨツボシケシキスイ

じゅどう

夏の樹洞

宮ヶ瀬ビジターセンター



樹洞がたくさんできた木

日なたでは、肌がじりじりと焼けるような強い日差しがあります。一方、森の中では、日光が木々の葉にさえぎられ涼しく感じます。さらに、風が吹く時はとても気持ちよく過ごせます。

森の中には、木の幹などにあいた穴があり、それらは樹洞と呼ばれています。暑い日の樹洞はとても涼しそうですが、中の温度は森の気温とあまり変わりません。

しかし、隠れることができる場所として、いろいろな生きものが使います。樹洞の大きさも、クマが入ることのできる大きな穴から、ムササビ・コウモリなどの哺乳類や鳥が利用する中ぐらの穴、さらに昆虫があけた小さな空間までいろいろあります。

この夏、木陰で休憩する時に、日差しを避けて樹洞を利用している生きものが出ているのを思い出してみてください。（吉田）



樹洞を利用する動物たち
（左から、ニホンミツバチ、トゲアリ、ムササビ、ヤマコウモリ）

シシウド ムシパーティー

箱根ビジターセンター

8月になり、夏の暑さもいよいよ本番を迎えた頃、夏の主役であるムシ達の活動が活発化しはじめ、ここ箱根でもたくさんのムシ達で大いに賑わいます。

そして同じ頃、ムシ達の活発時期に合わせて、「シシウド」という背丈の少し大きな花がいたるところにたくさん咲きます。このシシウドという花、ムシがたくさん集まる花としてとても有名です。毎年、花が咲く時期になると、大量のムシが殺到。



シシウド



花粉をまとうアカハナカミキリ

その様子を見て、別名「ムシのレストラン」とも言われるほどです。それほどまでも、美味しい花粉なのでしょうか……。シシウドには、小型からやや大型の多種多様なムシが集まる「レストラン」ですが、そこはやはり自然界、ここに集まる小型の羽虫等を狙って大型昆虫がやって来て捕食、といった食物連鎖も起こっています。

ムシを観察するならシシウド、と言っても大げさでは無いぐらいに観察に適している花です。今年もまた色々なムシを見れると思うと、今から楽しみです。（加藤）